



# tasar

Japan Tasar Assosication  
<http://www.tasarjapan.org/>

# 98

Tasar News Letter  
Vol.98  
Oct. 2015



秋晴れのオータムレガッタ（浜名湖：三ヶ日青年の家）

## CONTENTS

安全の徹底とフェアなレースを目指して .....	1
2015 年度上期活動報告 (TOY 中間発表) .....	2
30 周年記念パーティー開催のお知らせ.....	3
蒲郡練習会レポート.....	4
2015 年度上期レースレポート.....	7
2015 年度上期レース成績一覧.....	(巻末添付)

## 安全の徹底とフェアなレースを目指して

会長 田中 郁也

“ノーケース、ノートラブル” 学生時代に大きなレースに臨むとき、目標の一つとして多く語った言葉です。これの意味するところは、ケースを起こしての“失格”、レースが続行できないトラブルによる“リタイヤ”となると、どちらも大きな失点につながるので、十分に気をつけようと自艇に対する戒めのようなものでした。昔は選手向けの講習会の機会がなく、ルール of 解説書で勉強し、レース前には入念に艇の点検を行ったものです。

2017 年の蒲郡ワールドでは、大会目標の一つに、表題の“安全の徹底とフェアなレースの実現”を掲げたいと思っています。大会の準備、運営を行う立場と出場する選手の立場の両面から、その実現を目指します。

まず、安全対策についてですが、主催者の立場からは、起こりうる事故等に対し、十分な備えをすることだと考えています。具体的には、荒天時のレスキューやハーバーバックを速やかに行う工夫、最も暑い時期の大会となりますので、海上、陸上での熱中症等の対策などが考えられます。一方、選手の立場としては、自力でセーリングできなくなるようなトラブルを防ぐことです。具体的には、乗員のけが、ステー等の切断、マスト・ブームの折れ、マストステップのピン折れ、ラダートラブルなど。これらは日頃の整備と点検により多くのことが未然に防ぐことができると思います。“Fanfare for the common man” (<http://ameblo.jp/tasarjapan/>) にテザーの艀装に関する情報が整理されています。今後は協会のホームページでも安全に関する情報提供を行っていきますので、ご活用いただきたいと思います。

次にフェアなレースの実現についてです。いくつかの要素があるかと思いますが、大会を運営する立場からは、コンディションとレース運営のクォリティーが求められると思います。その両者において蒲郡はトップレベルだと確信しています。一方、選手の立場としては、“規則”の遵守が求められます。これまでテザークラスのレースでは、ルール違反ではないかとの意思表示をすることが少なく、その結果として規則違反やペナルティー履行の意識が希薄になっているのではないかと感じています。レース中に出くわすシーンにおいて、適用されるルールを理解し、実際のレースシーンで自艇に違反があったと思えば、ペナルティーを履行する、そのようなグッド・マナーのレースを実践し、海外のセーラーを迎えましょう。協会のホームページにおいて、実際のレースシーンでよくあるケースや判断を迷うケースを取り上げ、適用されるルールの説明等を行うコーナーを設けます。各ケースについて、直ちに正しい解釈を得ることは難しいので、皆さんの知識を持ち寄って、正解を導きだすような形で進めていきます。これを機会にルールの理解を深めていただけたらと思っています。

間もなく全日本です。30 回目となる節目の記念大会、安全にフェアなレースを楽しみましょう。

2015 年 10 月

## JTA2015 年度上期活動報告

### 活動報告

#### 協会公式イベント

2015 年度上期（4 月～9 月）は、下記の公式イベントを実施しました。

#### JTA 公式レース

- ・ スプリングレガッタ (葉山 / 2015 年 4 月 25-26 日 / 25 艇) 優勝 佐藤/村岸
- ・ 西日本選手権 (芦屋 / 2015 年 7 月 12 日 / 12 艇) 優勝 田中/泉
- ・ ミッドサマーレガッタ (津 / 2015 年 8 月 30 日 / 14 艇) 優勝 池田/須山
- ・ オータムレガッタ (浜名湖 / 2015 年 9 月 20 日 / 21 艇) 優勝 佐藤/村岸

#### 練習会

- ・ 第 1 回練習会 (蒲郡 / 2015 年 6 月 6-7 日)
- ・ 第 2 回練習会 (芦屋 / 2015 年 7 月 11 日)
- ・ 第 3 回練習会 (浜名湖 / 2015 年 9 月 19 日)

#### オープンヨットレース

- ・ 海陽セーリングカップ (蒲郡 / 2015 年 7 月 19-20 日 / 11 艇) クラス優勝 石川/泉

## 2015 年度スケジュール

日 程	イベント名	場 所	備 考
4/25(土)～4/26(日)	スプリングレガッタ ★	葉山	
6/6(土)～7(日)	練習会	蒲郡	
7/12(日)	西日本選手権 ★	芦屋	11 (土) 練習会開催
7/19(日)～20(月・祝)	練習会 (海陽セーリングカップ)	蒲郡	オープンヨットレース参加
8/30(日)	ミッドサマーレガッタ ★	津	
9/20(日)	オータムレガッタ ★	浜名湖	19(土)練習会開催
10/10(土)～12(月)	全日本選手権 ★	江ノ島	
11/8(日)	和歌山ワールドメモリアルレガッタ ★	和歌山	
2016/2/21(日)	ミッドウィンターレガッタ ★	稲毛	20 (土) 練習会開催予定

★ : Tasar Sailor of the Year の算定対象レガッタです

## TASAR SAILOR OF THE YEAR 2015 中間発表(暫定)

全日本選手権、和歌山ワールドメモリアルレガッタ、ミッドウインターに参加して、ポイントアップを目指しましょう。運営のお手伝いでもポイントが加算されます。赤字がポイントです。

1	田中 郁也	稲毛	68	21	野口 優	稲毛	25	41	中西 英貴	芦屋	14
2	中村 賢一	葉山	61	21	杉田 智宏	稲毛	25	41	本吉 謙治	葉山	14
3	池田 陽平	稲毛	60	21	池田 俊則	大阪北港	25	41	櫻井 智美	その他	14
4	渡辺 克充	芦屋	58	24	泉 香月	大阪北港	24	44	山本 晴之	葉山	13
5	軽部 竜也	稲毛	55	24	登尾 早苗	葉山	24	44	大場 健介	稲毛	13
5	軽部 香	稲毛	55	26	植田 泰平	芦屋	23	46	安澤 厚男	芦屋	12
7	田中 紀子	稲毛	53	27	宇佐美 重則	稲毛	22	47	村田 基佳	その他	11
8	村岸 恭明	江ノ島	49	28	竹内 俊輔	稲毛	21	48	米本 隆	葉山	10
8	佐藤 浩章	江ノ島	49	29	山下 栄輝	葉山	20	49	阪井 祐介	葉山	9
10	秋吉 寿美子	大阪北港	46	29	紙 さおり	葉山	20	49	宮下 健	葉山	9
11	下村 晃司	稲毛	40	29	久礼 嘉伸	葉山	20	51	三輪 記裕	大阪北港	7
12	石川 光輝	大阪北港	37	29	岡 誠	葉山	20	51	野嶋 嘉昭	葉山	7
13	山村 太郎	稲毛	34	33	高松 慎吾	葉山	19	53	石川 洋二	葉山	6
14	石塚 恒志	浜名湖	31	33	井上 敦	稲毛	19	54	中川 紘司	その他	4
15	関口 真秀	江ノ島	29	35	松本 浩司	江ノ島	16	55	工藤 陽	浜名湖	3
15	上松 慮生	江ノ島	29	35	武藤 拓万	江ノ島	16	56	黒谷 豊	芦屋	2
17	中野 佳代子	芦屋	28	35	佐藤 和紀	芦屋	16	56	外石 満	葉山	2
17	戸室 宣房	江ノ島	28	38	宮下 知之	葉山	15	56	長谷川 勝啓	浜名湖	2
19	亀山 寛達	稲毛	27	38	中山 弘幸	大阪北港	15	59	掛川 宏	芦屋	1
20	蜂須賀 強	浜名湖	26	38	宮下 颯	葉山	15				

### 日本テザー協会設立30周年記念パーティー開催のお知らせ

2016年、日本テザー協会は設立30周年を迎えます。

1986年7月19日、葉山にてテザークラスの第一回レースが開催されました。

そしてこの日、日本テザー協会が発足し、世界テザー協会のリージョンとして認定されました。

この節目を記念して、祝賀パーティーを開催いたします。

今までテザーの普及に尽力された方・現役テザーセーラーやそのご家族にお集まりいただき、

この30年を振り返り、またこれからの更なる盛り上がりを期待する機会になればと存じます。

みなさまとお会いできることを楽しみにしております。

日時：2016年6月18日(土)14:00より

場所：横浜国際ホテル(最寄駅：横浜駅)

詳細はあらためてお知らせいたします。

6/6(土)、6/7(日)の2日間、海陽ヨットハーバーで練習会を実施しました。非常に良いコンディションの中、練習ができました。簡単ですがレポートします。



#### 1. スケジュール

6/6(土)	12:00~13:00	各艇積み下ろし・艀装、 チューニング・艀装のアドバイス
	13:00~	練習内容の説明
	13:15~16:00	練習
	16:30~17:30	練習会の振り返り
6/7(日)	8:00~9:00	艀装、出艇準備
	9:00~	練習内容の説明
	9:10~13:00	練習 (6/6 と同じ)
	14:00~15:00	練習会の振り返り
	15:00	解散



#### 2. 参加艇：合計 11 艇

#### 3. コンディション (省略)

#### 4. 練習内容

- ラウンディング練習： 長めの上一下のコースをぐるぐる回る練習。  
艇と艇の間があいた時は、先行艇 は回り直し、艇と艇の間隔を詰めて実施。
- スタート練習： 狭目のスタートラインを設定。初日 5 本、2 日目 6 本を 5 分周期で実施。  
2 日目は、下有利 3 本、上有利 3 本とした。1 分間タックをせずにそのまま走るルールとした。
- コース練習：3 周回るコース。1 レース 20~25 分程度のコース。初日 2 レース、2 日目 3 レース。  
合計 5 レース実施。

#### 5. 練習会の振り返り：初日 1 時間、2 日目 1 時間実施。下記の内容とした。

- ・ビデオによる帆走、スタートのチェック
- ・ストラテジとタクティクスについて
- ・タックの判断
- ・エンドにでないコース取り(残りレグ 1/5 で中央を通過する考え方)
- ・下マーク回航後の 2 上コースの判断
- ・ブランケットの走り方
- ・風の種類について
- ・レース中の艇速について
- ・ポートロングでありがちなケース
- ・ミート時の軌跡
- ・上マークにおけるジャイブ判断
- ・マーク回航時の次のマークの確認
- ・ラムラインの確認
- ・ワールドに向けた準備

## 6. 練習会に参加して

- ・若手チームからベテランチーム、親子チームまでが参加し、和気あいあいとした楽しい雰囲気を実施しました。練習会の振り返りでも各艇が問いかけに対して、感想を言ったり、質問をするなど盛り上がりました。
- ・初日の振り返りで話したポイントを翌朝の出艇前に確認することで、2日目の練習が充実した艇が多かったようです。
- ・帆走練習においては、ジブが詰まっている艇、ジブハリが弱い艇、アウトホールが緩い艇についてビデオを取りながら、その場で声かけを実施。また、風の変化に合わせたジブトリムが少ない点、セールカーブの確認が少ない点を伝えました。
- ・スタートにおいては、微速前進や、全速までのタイミング、スタートラインの確認(本部船側を見ること)を話し合いました。
- ・基本を中心にみんなで話をし、気づきがあった艇が多かったようです。
- ・練習、練習会振り返りの後は、蒲郡駅周辺で懇親会を実施し非常に盛り上がりました。

## 第1回練習会参加レポート

JPN2572 稲毛フリート 軽部 竜也さん

6月6日と7日に蒲郡での練習会に参加してきました。テザー11艇に運営メンバーを合わせてたくさんのテザーセーラーが蒲郡に集まりました。中には子供の運動会をキャンセルしてまで参加したお父さんもいたようで……。大人の運動会、楽しかったですね！

### 【ハーバー情報】

東名高速を豊川ICでおおりて、さらに20分ぐらいでハーバーに着きました。道路状況は、途中混雑するところがありますがおおむね順調に流れていました。ただ、夏場に関してはハーバーの周辺の道路は非常に混み合うそうなので注意が必要です。コンビニまでは歩くと10分以上はかかりそうです。途中で寄って行った方が良いかもしれません。ちなみにハーバーの2階にもレストランっぽいお店はあり、ご飯を食べることはできます。宮下さんによると「だいたい1,000円ぐらいでボリュームいっぱい」だそうです。

利用料は艇置料(950円)と水道代(150円)がかかります。水道代は出艇した場合に支払うようです。ロッカーとシャワーは、利用者は無料で使えますので、小銭は用意しておかなくても大丈夫です。シャワールームにはシャンプーなども置いてありました。自由に使って良いそうです。

### 【練習会】

6日(土)は予報通り、ブローで10mオーバーのコンディションです。5-6mぐらいの風かなと思っていて、時おり強い風が吹いてきて30秒ぐらい続く感じでしょうか。バースにいても、色んなものが飛んでいたり、マストを立てるだけで吹き倒されている艇もあるぐらいでした。

だいたい全艇がそろったあたりで、村岸さんから艀装について気になる点を話してもらいます。マーキングのポイントや、比較的新しい艀装品についての情報共有など。

それから練習会のメニューについてブリーフィングです。帆走練習、スタート練習を5本程度、最後にコース練習で、それぞれ1時間程度ずつ行う予定です。

着替えて準備が出来た順に出艇します。石塚さんや石川さんなどはさっさと艀装して出艇していきます。我々も遅れまいとセールをあげますが、この時点で我がスキッパー様はビビりモードです。そよ風かと思っていると時おり入る強烈なブロー。しかもブローが入る度に振れます。とりあえず出艇するだけはしようと、スキッパーを説得してなんとか海面に出ます。

海面に出るとなかなか広いです。湾になっているので周囲は陸地に囲まれる形ですが、狭さは感じません。我々は一度はハーバーを出たものの、結局は直ぐに帰着します。そして一緒に出戻ってやる気を持って余っていた山村さんと私が組んで出ることになりました。再び海面に出ますが、先ほどよりブローが

大したことなく感じます。風が弱まったわけではなく、クルーウェイトが全然違うのです。船に安定感があり、これが重量級チームの世界か、と軽く感動。

練習メニューは進んでいて、コース練習が始まったところで本格的に合流です。午後の太陽が反射してマークも海面もよく見えないので、とにかく走りに集中することにします。この日は西寄りの風で、沖から吹いてくる風ではないせいか、うねりはありませんでした。ただ波のピッチが短くクローズではバウが叩かれやすく、ランニングでは波に突っ込むようになります。体を使って前後移動したり、軽くロッキングしているとすぐに疲れます。コースは上サイド下、上下、上サイド下を回って20分ちょっとでフィニッシュする大きさです。途中、後続艇との距離が離れたり、マークタッチをしたりで3回転、1回転とぐるぐるします。結果、非常に疲れました。このぐらいの風でレースを走り切るには、基本的な体力レベルを上げることが必要だと痛感しました。



もう1レースをしようと思いますが、スタート前にマストが倒れた艇があったためコース練習は中止となりました。全艇帰着して、この日の練習は終了です。船を片付けた後はハーバー2階の会議室で練習会の振り返りをします。ポイントはコースを引くための考え方です。基本的なセオリーのおさらい、他艇とミートした時の判断、ブランケットゾーンの避け方などを村岸さん・中村さんが話してくれます。コース展開やフリート全体の中でのポジショニングの考え方などについて、Q&Aを交えながら講習が進みました。ビックフリートが想定されるワールドでのレース念頭に話し合い、他艇の影響を避けつつ自艇の選択肢を確保しながら走ることがひとつのポイントになりそうだという意識を参加者で共有しました。

夜は蒲郡駅前で懇親会です。大人数を収容できるお店は少ないようで「笑笑」です。小さいお店だと他にもおいしいところがあるので、開拓の余地はありそうです。その後、数人は石原さん（愛知工大の教授です！）に連れられ、「空」という地元のとってもおいしい日本酒を飲んだようです。

翌7日（日）は予報では4-5mからガストで8mぐらい。実際の風もおおむね予報通りでした。風向は、雨が降る前の日のパターンらしいのですが、東からの風となりました。左右からブローが入ってきて、時おり大きくシフトする感じです。昼にかけて徐々に風軸が右に（南に）振れていきながら、風も強くなってきました。練習メニューは前日と同じですが、フルメンバー11艇での練習が出来ました。コース練習では前日の振り返りを思い出しながら、ひとつひとつの判断を丁寧に心がけていきます。

この日も練習後に会議室で振り返りを行いました。撮影したビデオ映像を見ながら、セール等のセッティングについて気になった点を話してもらいました。またコース練習中にあったインシデントについて田中さんから解説がありました。上マークのゾーン内でタックという典型的なパターンです。

振り返りの締めとして、に村岸さんから「ワールドに向けて何を準備しますか？」という問いかけがありました。蒲郡ワールドまでこれから2年間ありますが、自分たちがもうひとつレベルアップするために必要なことは何か、過去に参加したワールドの経験を元に考えたいと思います。練習計画もたてないといけません、他にも体力強化、体重調整、船のメンテナンスなど準備することはたくさんあります。

最後になりますが、今回の練習会の運営を務めていただいた村岸さん、ソニーヨット部の中村さん、田中会長にお礼を述べたいと思います。特に村岸さんには練習会の企画から懇親会の幹事まで、一切を取り仕切っていただきました。ありがとうございました。

スプリングレガッタ

JPN2765 稲毛フリート 田中郁也 さん



4月25-26日、2015年度シーズンの幕開けとなるスプリングレガッタが葉山港で開催され、関西、浜名湖からの遠征チームも含め、25チーム、54名のテザーセーラーが参加した。

初日は北東の軽風下で3レースが実施された。朝方の冷えこみの影響で吹いていた風が徐々に落ちていく中、右(東)にまわるかもしれないという予感の一方で、左サイドには逗子海岸方面からのブローが時々降りてくるという、コース選択が難しい海面だった。一旦出遅れても追いつき、抜くチャンスがある一方で、トップグループでも安心はできず、レグごとにかなり順位が入れ替わ

った。このような中で佐藤・村岸組(江の島F)は、出遅れても追い上げる実力をみせ、3レースを1-5-1でまとめた。また、第2レースでは、渡辺・中野組(芦屋F)が最初のポジションを守り切って、トップフィニッシュを果たした。

レース終了後のレセプションでは、昨シーズンの年間ランキングの発表が行われ、最も活躍したセーラーの称号である“Tasar Sailor of the year (TOY)”2014は、大阪北港の石川光輝さんに贈られた。石川さんは年間7回の公式レース皆勤賞も獲得した。また、2017年夏の蒲郡テザーワールドのPRを目的に作成された、ロゴマーク入りのTシャツが披露され、売れ行き好調だった。

翌26日、朝の北風は早々に止み、10時過ぎに西の微風で第4レースがスタート。石川・泉組(大阪北港F)が上りで素晴らしい走りを見せ、トップフィニッシュ。続く第5レースは南西から徐々に南に振れる風で軽部夫妻(稲毛F)がトップを飾った。もっとも風が落ち着いた最終レースは、実力チームが接戦を展開し、池田・須山組(稲毛F)が制した。

総合優勝は佐藤・村岸組となり、スコアを揃えるのが難しいコンディションで12点(1カット後)にまとめ、2月のミッドウィンターに続く優勝となった。2位はGMクラスデビューとなった田中夫妻組(稲毛F)、3位は石川・泉組となった。



TOY2014に輝いた石川さん。  
チーム2719のメンバーに感謝!

両日とも日差しに恵まれ、スロープで澄んだ水に足をつけると“緩み”を感じ、海にでるとたくさんのヨットが走っていて、そんな葉山の春本番を感じる、楽しいレガッタだった。運営に尽力されたテザー葉山フリートの皆さん、ご協力をいただいた葉山町セーリング協会、ファイヤーボール協会、(株)リビエラリゾートに感謝したい。

次のイベントは、ワールド開催地に決定した蒲郡海陽YHでの練習会となる。日本テザー協会では、蒲郡ワールドを目指してテザーを始めようという方、一時セーリングから離れていたがテザーに戻ってこようという方のイベント等への参加をサポートする、“ウェルカム・キャンペーン”を行うことにしている。テザーに関心のある方は [jta-information@tasarjapan.org](mailto:jta-information@tasarjapan.org) まで連絡をいただきたい。

本レガッタの直前にデラマンチャヨットクラブのメンバーである志賀さんが急逝されたとの報が届いた。2013年の男鹿全日本ではテザーを代表して運営にあたっていただき、このスプリングレガッタにも運営として参加する予定だったそうだ。葉山Fの山下キャプテンの声かけにより、参加者全員で黙祷を捧げた。これまでの志賀さんの活動に感謝し、ご冥福をお祈りしたい。

梅雨明けにはまだもう少しですが、蝉も鳴いて夏らしい陽気となった7月12日(日)。兵庫県立海洋体育館には、稲毛・葉山・江ノ島・津・大阪北港そして地元芦屋から12艇が集まり、テザー級西日本選手権が開催されました。

朝は、芦屋名物の長い水路を抜けるのに1時間近くかかる程の微風でしたが、その後徐々に吹き上がり予定された3レースが無事に行われました。

第1レース(220° 1~3m/s) : 1上は、途中右へ大きく片振れし、早めに右海面へ出していた渡辺/多田組(芦屋 F)がトップ回航。池田/秋吉組(大阪北港 F)、亀山/井上組(稲毛 F)が続きます。その後も、高校の先輩後輩同士である渡辺/多田組がムラのある難しい海面の中、順位をキープしトップフィニッシュ。多田さんは3年ほどテザーから離れていましたが、「うつぶんを爆発させた!」とご本人の言葉通りの見事な走りでした。2レグ以降、首位以下は何度も順位が入れ替わり、2位田中/泉組(大阪北港 F)、3位本吉安澤組(芦屋 F)となりました。

第2レース(240° 4~5m/s) : 飛び出したのは中村/岡本組(葉山 F)でした。フリーではプレーニングを継続させ圧倒的なスピードでさらに貯金を増やして他艇を大きく引き離れたダントツのトップフィニッシュでした。第1レース同様、2位田中/泉組、3位本吉安澤組となりました。

第3レース(260° 7~8m/s) : 白波が立ち、パンチの効いたゴキゲンなシーブリーズが入ってのレースとなりました! 今大会を最後に嫁ぎ先が決まっている三輪/中山組(大阪北港 F)の2738艇は、見事なラストランを見せて1上トップ回航。2レグ以降は、第2レースで勢いこのった中村/岡本組が艇団をひっぱります。しかし田中/泉組が振れる風に合わせてじわじわとその差を詰めて追い上げ、最後のアプローチで勝負に出て中村/岡本組を制してトップフィニッシュ、2位は中村/岡本組、3位は三輪/中山組となりました。

3レースを終え、総合優勝は急遽ペアを組んでぶっつけ本番でのエントリーだったにも関わらず、軽風~強風のレースを2-2-1でまとめた田中/泉組となりました。



表彰式では副賞に、2017年に開催されるテザーワールド蒲郡のロゴがプリントされた京都の銘菓『鼓月』さんの千寿せんべいが贈られ、ワールドに向けて着々と準備が進んでいることを感じました。こんな可愛くて美味しい副賞が頂けるなら頑張ろう!というチームが増えるかもしれません。テザー協会は来年30周年を迎え、プレワールドが予定されており、再来年には蒲郡でのワールド開催とイベントが目白押しです。たくさんの仲間が増えるといいなと思います。

可愛くて、とっても美味しい!  
鼓月さん、ありがとうございます

(7/16 BULKHEAD magazine 掲載)

## 海陽セーリングカップ

JPN2719 大阪北港フリート 石川 光輝さん

梅雨明けも発表された海の日を含む3連休、2年後にテザーワールドが予定されている愛知県蒲郡市の豊田自動織機 海陽ヨットハーバーで「2015海陽セーリングカップ」が開催されました。愛知県ヨット連盟のご厚意で3連休に実施された海陽セーリングカップにテザー級を後半2日間特設いただき、地元のトヨタ自動車チームを含む11チームが東西より集まりレース参加しました。

テザー級以外の艇種については3日間のレース日程ですが、初日は生憎風が入らずレースは行われなかったようです。2日目も朝一度出艇したものの安定した風が入らず、ハーバーに戻り待機することに。昼頃になり弱いな



からも安定した海風が入って全クラスが再度出艇。軽風の中、テーザー級では普段使われることのないトラペズイドコースで3レースが行われました。

第1レース、第2レースはスタートからレースをリードした石川・泉組がトップ。第3レースは田中・田中組と佐藤・村岸組で激しいトップ争いが行われていたところに、序盤は艇団後方で出遅れていた石川・泉組が追い付き、最後の下マークを3艇同時に回航するデッドヒートに。着順は最後の下マークを内側で回れた順に、1位佐藤・村岸組、2位石川・泉組、3位田中・田中組という結果になりました。

最終日は長い風待ちの後に艇団、1レースのみ実施。各クラス、レース成立の最低レース数をぎりぎりクリアすることができました。最終レースは10ノットの順風の中で行われ、石塚・白岩組が終始レースをリード。序盤出遅れたトヨタ自動車の山下・谷／中島組が猛烈な追い上げ見せ、トップ争いに絡みましたが石塚／白岩組がトップを死守しました。

2015 海陽セーリングカップ テーザー級総合成績は1位石川／泉組（大阪北港フリート）、2位田中／田中組（稲毛フリート）、3位佐藤／村岸組（江ノ島フリート）という結果でした。

待望の蒲郡ワールドは2年後の2017年。今年に入って新たにテーザーを始められた方、テーザーを購入された方の話をよく耳にするようになり、ワールドに向かってクラスの雰囲気も盛り上がっていくのが感じられました。



地元スナイパーのTOYOTA チーム

(7/24 BULKHEAD magazine 掲載)

## ミッドサマーレガッタ

JPN2880 稲毛フリート 池田 陽平さん

8月30日、テーザー級の公式レース「ミッドサマーレガッタ」が伊勢湾海洋スポーツセンター（三重県津市）で開催されました。津でのレース開催は2005年のテーザー級全日本選手権以来、実に10年ぶりです。合計14チームが秋雨の海に集まりました。

レース当日は微風の中、「津の風」を期待して待機モードの選手の思惑をよそにレース委員長は決断します。第1レースを予定時刻にスタート。スタートラインに出遅れるチームが続出しますが、微風シリーズを覚悟したチームはしっかり準備していました。風が大きく右に振れる中、本部船側から飛び出した中村・小松組が艇団をリードします。その後、上マークを回った頃には風が落ちてほぼ無風に。テーザー級はハル重量68kgの軽量のためわずかな風でも帆走できますが、慣性が効かないためその分止まりやすく、風をつかみ続ける必要があります。時間が止まったような我慢大会の中、他艇の風上に入りながら海面のエッジに出たチームが伸ばしていきます。結局このレースはコース短縮となり、風をつかんだ石塚・白岩組がトップフィニッシュ、池田・須山組、中村・小松組が続きました。

第2レースも微風で大きく振れる海面に多くのチームが翻弄される中、軽部夫妻チームが軽快なボートスピードでトップフィニッシュします。山村・吉田組、植田親子組が続き、得点が入れ替わります。

決着の最終第3レース、ここで「津の風」がブローを運んできました。スタートの有利エンドから飛び出した池田・須山組が上マークをトップ回航、ボートスピードに勝る軽部夫妻に抜かれますが2位をキープして優勝を決めました。このレース3位の石塚・白岩組が総合2位、3レースの順位を手堅くまとめた渡辺・中野組が総合3位となりました。



優勝した池田・須山組



入賞チームには素敵な副賞が贈呈されました。地元の伝統工芸である伊勢型紙の技法で作られた立派な額装です。豪華賞品を手にした面々はお満悦で微風シリーズの奮闘をたたえ合いました。

2017年日本ワールド開催（蒲郡）に向けて切磋琢磨し、日本人初のワールドチャンピオンを目指しましょう！

(9/7 BULKHEAD magazine 掲載)

## オータムレガッタ

JPN2862 江ノ島フリート 村岸 恭明さん

9月19、20日、静岡県立三ヶ日青年の家でテザー級の公式レース「オータムレガッタ」が開催されました。全国は高気圧に覆われポカポカ陽気、シルバーウィークに最後の夏を楽しむかのような良いコンディションの下、21艇ものヨット好きが集まりました。

9月19日(土)は、午後から参加艇の約半分(10艇ほど)が集った練習会が開催されました。南の風2~3m/sのコンディションで、帆走練習、スタート練習、コース練習と2.5時間ほど実施しました。練習会の後は、三ヶ日青年の家の会議室を使っての練習会の振り返りとルール講習会です。A級ジャッジを保有する田中さん(稲毛2765)を講師に「安全でフェアなレースを目指して」と題して、ルール強化の意味、事例を通じた実践ルールを学びました。ディスカッション形式で実施され、みんなで楽しみながらルールについて考えました。日本テザー協会では、2017年日本で開催されるワールドに向けて、選手の強化プログラムが進んでいます。是非、レース前日に開催される練習会にもご参加ください！



練習会の後は、浜名湖フリート主催の懇親会です。ベテランセラー、若手セラーに加えて家族連れセラーのファミリーも集まり、幅広い世代が和気あいあいと交流を深めました。

9月20日(日)は微風の予想でレガッタ開催が危ぶまれましたが10時頃から無事に南風が入り始め、微風~順風で3レースを予定通り消化しました。

第1レースは、安定して入り始めた南風2~3m/sでスタート。左のシフトをつかんだ下村/竹内組(稲毛)がトップ回航。続いて佐藤/村岸組(江ノ島)、軽風を得意とする軽部/軽部組(稲毛)が後に続きます。この3チームを中心に激しいトップ争いが繰り広げられましたが、最終的にトップは、佐藤/村岸組(江ノ島)、2位に軽部/軽部組(稲毛)、3位に下村/竹内組(稲毛)が入りました。

第2レースも同じように南風2~3m/sの微風コンディションです。風が弱く、シフトする難しいコンディションです。軽部/軽部組(稲毛)、下村/竹内組(稲毛)、ミッドサマー優勝の池田/須山組(稲毛)、関口/上松組(江ノ島)がレースを引っ張ります。しかし、2下のランニングで風がほぼなくなり南西に大きく振れることとなり、上位7~8艇くらいが下マーク付近で団子状態に。この団子状態を、佐藤/村岸組(江ノ島)が抜け出し1位、2位に軽部/軽部組(稲毛)、3位に池田/須山組(稲毛)が入りました。

第3レースは風があがり、4~5m/sの南西寄りの風でスタート。体重によっては、クローズでメインを出し始めるコンディションです。このレースもトップは佐藤/村岸組(江ノ島)、2位に田中/田中組(稲毛)、3位に池田/須山組(稲毛)が入りました。

総合は1位佐藤/村岸組(江ノ島)、2位池田/須山組(稲毛)、3位下村/竹内組(稲毛)、4位軽部/軽部組(稲毛)、5位関口/上松組(江ノ島)となりました。上位7位まで、江ノ島、稲毛勢が独占しました。グランドマスタークラス優勝は田中/田中組(稲毛)、スーパーグランドマスタークラス優勝は地元の石塚/白岩組(浜名湖)となりました。

レースの準備、運営をして下さった、浜名湖フリート、静岡県セーリング連盟、そのほか関係者のみなさま、ありがとうございました。

今回のレースは4艇の親子ペアが参戦しました。植田/植田組(芦屋)、宮下/宮下組(葉山)、長谷川/長谷川組(浜名湖)、蜂須賀/蜂須賀組(浜名湖)です。植田さんは長男との参戦に続き、今度は小学校6年生の次男との参戦でした。風が上がってからは苦勞する場面もありましたが、息子さんがたくましくレースする姿は、レース全体を盛り上げてくれました。

(9/23 BULKHEAD magazine 掲載)

## オータムレガッタ参加レポート

JPN2709 葉山フリート 宮下 知之さん

9月20日に浜名湖で開催されたTasarオータムレガッタに参加してきました。

4月から小学校6年生の息子(颯; そう)と一緒に乗り始め、公式戦2レース目、遠征3回目です。

9月19日の早朝出発し、シルバーウィークの渋滞に多少巻き込まれながら、浜名湖の青年の家に到着しました。私にとっては1999年の浜名湖Tasarワールド以来で、非常に懐かしい気持ちでいっぱいになりました。特にワールド時、デラマンチャで貸し切りにしたロッジに今回も泊まる事が出来て、楽しかった思い出がよみがえってきました。

午後から練習会に参加しました、微風でしたが、スタート練習やコース練習を何本が行い、練習終了後、練習の振り返りとルールに関する講習を行いました。蒲郡ワールドに向けて、タクティクスやルールに関する講習会を毎回開催することで、ワールドに向かう気持ちを盛り上げ、日本人セーラーのレベルを少しでも上げていこうという協会の気持ちが強く感じられます。講習会の中で、フィニッシュ時にマークタッチしてしまったとき、どの様に解消するかについて話が盛り上がりました。私の息子もその議論が相当印象深かったのか、翌日のレースではフィニッシュラインが見えると、「マークタッチに気をつけて!」と何度も言われたのが、今回のレースで印象的な出来事の1つでした。

懇親会は三ヶ日駅の近くで行われ、青年の家に宿泊していた人たちは、迎いのバスが来るし、コストパフォーマンスの高い料理が出てくるし、と至れり尽くせりの懇親会でした。

さて、翌日レースは微風から中風の中で3レースが行われました。レースの展開についてはバルクヘッドマガジンのレポートを参照してくださいと思います。今回のレースには、4組の親子チームが参加しました。常連の蜂須賀チームに加え、大阪の植田チーム、葉山の宮下チームは小学校6年生の息子と、そして久々の参加となる地元、長谷川チームは、なんと小学校2年生の息子をクルーにしての参加でした。和歌山ワールドの時、まだ赤ちゃんだった帆風君がセーリングしている姿は微笑ましいと同時に、時間が経ったことを感じさせてくれました。私がTasarを始めた頃は、「夫婦でTasar」というのがこのクラスの売り文句の1つでしたが、「親子でTasar」というのが新しい売り文句になっていけたなら、それはこのクラスにとって素敵なことではないかと思っています。



小学生チーム集合!

出着艇時や海上においても、多くの方にお手伝いや声をかけていただいて、本当に助かりました。次は江ノ島の全日本ですね。息子にとっては初めての「全日本選手権」です。楽しみたいと思っています。

最後に、オータムレガッタのホストになっていただいた、浜名湖フリートの皆様ありがとうございました。

## 香南市長杯第7回龍馬カップ IN KOCHI 参加レポート

JPN2866 芦屋フリート 渡辺 克充さん

GW明けの5月9-10日、高知県香南市で行われた香南市長杯第7回龍馬カップ in KOCHIに参加してきました。(大会ウェブページは、<http://www.ryomacup.com/>。エントリー、成績などは大会ウェブページをご覧ください)



龍馬カップは、高知県香南市にあるNPO法人 YASU 海の駅クラブで行われているオープンレースです。「子供から大人まで幅広い世代が楽しめるヨットレースを行い、マリンスポーツの普及とセーラー同士の親睦を図る、参加艇種を問わないオープンヨットレース」というスローガンの通り、和気藹々とした楽しいレガッタです。今年は高知大学/高知大学医学部の学生たちを中心に、地元ジュニアクラブのメンバーや四国各地のセーラーなど、39艇55名が集まりました。関西からは、テザー芦屋フリートから2208 南屋・長組と、2866 渡辺・中野組の2艇が参加しました。

初日は生憎の雨模様、微風～軽風の触れ回る風の中で2レースが行われました。第1レース、着順1位は香川県連/丸富さん(シーホッパー)、同じく2位は鳥取県連/八木谷さん(シーホッパー)と、国体/全日本選手権上位常連の選手がワンツーを飾ります。着順3位は地元高知大学の470 東本・常光組。テザーは、2866 渡辺・中野組が少し遅れて5位に入りました。第2レース、1レース目に藻を引きずってしまって順位が悪かった2208 南屋・長組がスタートから快走し、トップを守る展開。しかし・・・フィニッシュ直前に無風となってしまう、このレースはノーレースになってしまいました。

夕方には回復するという予報を信じて雨の寒いレースを我慢したおかげか・・・解装を済ませる頃には晴れ間が見えるほどに天気が回復し、お待ちかねのウェルカムパーティー。龍馬カップの魅力の8割方はこのパーティー、と言っても過言ではないアットホームなパーティー。地元の方が今朝釣ってきたばかりのシイラの刺身や、手作りの鰹のたたき、猪肉のバーベキュー、特製焼きそば、などなど。たくさんの料理に加えて生演奏や選手のコメントコーナーなどイベントもあり、日が暮れるまであっという間の楽しい時間でした。ここがいちばんの紹介ポイントなのですが自分が楽しむのに一生懸命で、写真がほとんどありません。すみません。



さて、2日目。前日とは打って変わって良い天気。4m/sほどのほどよい風の中、3レースが行われました。私は・・・前日の雨で風をひいてしまい、朝から体調が絶不調でした。1レース目は着順1位でフィニッシュしましたが、その後のレースはリタイアを決定・・・。一方、2208 南屋・長組は2レース目に1位フィニッシュするなど着順は好成績をあげました。しかし、トップ艇が20分程度でフィニッシュする超ショートコースのためにレーティングの良いシーホッパーとの差を広げる前にレースが終わってしまい、総合は19位でした。我々 2866 は後ろ2レースのDNSが響き、総合24位でした。

綺麗な南国の海でのセーリング、美味しい海の幸、地元の方々とのあったかい交流、オープンレースの醍醐味を満喫した2日間でした。

テザーとともにあるステキな時間をまとめておとどけたいです。葉山、芦屋、蒲郡、津、浜名湖、そして江ノ島での全日本、11月には和歌山、2月に稲毛。練習会も合わせると、今年はイベントがもりだくさん。年度途中でのレター発行は久しぶりです。ぎゅぎゅぎゅっと詰め込みました。次号(99号)は来年の2月に発行予定です。

SailNo	Skipper	Crew	Crew	Fleet	Class	第1レース		第2レース		第3レース		第4レース		第5レース		第6レース		合計	CUT	NET	順位
						着順	得点														
2862	佐藤浩章	村岸恭明		江ノ島	M	1	1	5	5	1	1	3	3	3	3	4	4	17	5	12	1
2765	田中郁也	田中紀子		稲毛	GM	3	3	15	15	4	4	2	2	2	2	7	7	33	15	18	2
2719	石川光輝	泉香月		大阪北港	M	5	5	3	3	14	14	1	1	4	4	6	6	33	14	19	3
2736	山村太郎	吉田向志		稲毛		6	6	2	2	8	8	4	4	5	5	2	2	27	8	19	4
2572	軽部香	軽部竜也		稲毛		4	4	6	6	6	6	5	5	1	1	16	16	38	16	22	5
2880	池田陽平	須山研吾		稲毛		12	12	7	7	2	2	7	7	6	6	1	1	35	12	23	6
2575	石井浩一郎	登尾早苗		葉山	M	7	7	18	18	5	5	8	8	10	10	3	3	51	18	33	7
2712	下村晃司	秋吉寿美子		稲毛&北港	M	2	2	14	14	11	11	6	6	7	7	11	11	51	14	37	8
2866	渡辺克充	中野佳代子		芦屋	M	15	15	1	1	12	12	13	13	8	8	8	8	57	15	42	9
2715	中村賢一	小松利英		葉山	M	11	11	4	4	16	16	21	21	12	12	13	13	77	21	56	10
2730	宇佐美重則	小田倉里美		稲毛	GM	21	21	9	9	3	3	9	9	20	20	17	17	79	21	58	11
2671	阪井祐介	宮下健		葉山	M	22	22	20	20	13	13	17	17	9	9	20	20	101	22	79	17
2749	野口優	杉田智宏		稲毛	M	14	14	11	11	22	22	19	19	14	14	5	5	85	22	63	12
2396	山本晴之	小池勇人		葉山	GM	17	17	8	8	17	17	15	15	11	11	12	12	80	17	63	14
2809	蜂須賀強	大場健介	新井実	浜名湖	GM	25	25	12	12	15	15	10	10	17	17	10	10	89	25	64	14
2764	中西英貴	佐藤和紀		芦屋		19	19	13	13	10	10	14	14	13	13	14	14	83	19	64	16
2821	戸室宣房	堀ノ内孝一郎		江ノ島	M	10	10	16	16	7	7	16	16	18	18	19	19	86	19	67	16
726	松本浩司	武藤拓万		未所属	M	18	18	23	23	18	18	12	12	16	16	15	15	102	23	79	17
2593	亀山寛達	金子文雄		稲毛	GM	16	16	19	19	20	20	18	18	19	19	9	9	101	20	81	19
2808	石川洋二	藤井孝明		葉山	GM	13	13	25	25	9	9	20	20	22	22	18	18	107	25	82	20
2709	米本隆	宮下知之		葉山		24	24	17	17	21	21	11	11	15	15	21	21	109	24	85	21
2748	野嶋嘉昭	齋藤智子	若林諒	葉山		9	9	10	10	24	24	DNC	26	DNC	26	DNC	26	121	26	95	22
2556	中川紘司	北爪宏彰	井上薫	葉山		8	8	24	24	25	25	22	22	23	23	23	23	125	25	100	23
2609	外石満	野本雅史	有持祐之	葉山		23	23	22	22	23	23	23	23	21	21	22	22	134	23	111	24
2720	高松慎吾	大橋武史		葉山		20	20	21	21	19	19	DNC	26	DNC	26	DNC	26	138	26	112	25

2015年 テーザー級西日本選手権総合成績

2015年7月12日  
兵庫県芦屋市・兵庫県立海洋体育館

Entry No.	Sail No.	乗員		フリート ／水域	クラス	レース						合計	順位
		スキッパー	クルー			1		2		3			
						着順	得点	着順	得点	着順	得点		
8	2719	田中 郁也	泉 香月	大阪北港	M	2	2	2	2	1	1	5	1
6	2670	本吉 譲治	安澤 厚男	芦屋	SGM	3	3	3	3	4	4	10	2
11	2655	中村 賢一	岡本 憲二	葉山	M	8	8	1	1	2	2	11	3
2	2866	渡辺 克充	多田 幸男	芦屋	GM	1	1	4	4	9	9	14	4
5	2593	亀山 寛達	井上 敦	稲毛	M	4	4	7	7	5	5	16	5
9	2745	関口 真秀	上松 慮生	江ノ島		5	5	5	5	6	6	16	6
1	2738	三輪 記裕	中山 弘幸	大阪北港		9	9	10	10	3	3	22	7
4	2669	池田 俊則	秋吉 寿美子	大阪北港	GM	7	7	9	9	8	8	24	8
7	2222	平田 貴之	櫻井 智美	津	GM	OCS	13	6	6	7	7	26	9
10	2705	植田 泰平	植田 遼空	芦屋		6	6	11	11	10	10	27	10
12	2623	黒谷 豊	吉田 忠史	芦屋	M	10	10	8	8	DNF	13	31	11
3	2660	掛川 宏	佐藤 和紀	芦屋	M	11	11	12	12	DNF	13	36	12

2015年 テーザーミッドサマーレガッタ

2015年8月30日  
三重県津市 伊勢湾海洋スポーツセンター  
参加艇数 14艇

Entry No.	Sail No.	クラス	乗員		レース						合計	順位
			スキッパー	クルー	1		2		3			
					着順	得点	着順	得点	着順	得点		
8	2880		池田 陽平	須山 研吾	2	2	8	8	2	2	12	1
9	2707	SGM	石塚 恒志	白岩 道孝	1	1	9	9	3	3	13	2
2	2866	M	渡辺 克充	中村 佳代子	4	4	7	7	4	4	15	3
14	2555	M	中村 賢一	小松 利英	3	3	5	5	8	8	16	4
12	2572		軽部香	軽部 竜也	DNS	15	1	1	1	1	17	5
1	2719	M	石川 光輝	泉 香月	6	6	6	6	7	7	19	6
6	2736		山村 太郎	吉田 向志	7	7	2	2	10	10	19	7
5	2765	GM	田中 郁也	田中 紀子	10	10	4	4	6	6	20	8
13	2705		植田 泰平	植田 遼空	9	9	3	3	9	9	21	9
4	2593	M	亀山 寛達	井上 敦	8	8	11	11	5	10	29	10
3	2669	GM	池田 俊則	秋吉 寿美子	5	5	10	10	13	13	28	11
11	2709		宮下 知之	宮下 颯	12	12	13	13	11	11	36	12
10	2575		米本 隆	登尾 早苗	11	11	12	12	14	14	37	13
7	2222	GM	平田 貴之	櫻井 智美	13	13	14	14	12	12	39	14

レース委員長 村田基佳 (三重県ヨット連盟)

S: 11:00 S: 12:20 S: 13:35  
F: 11:41 F: 13:01 F: 14:01

風向 100-140 風向 140-180 風向 150-180  
風速 2~3m/s 風速 2~3m/s 風速 2~5m/s

## 2015年 海陽セーリングカップ成績表 《テーパー級》

セール No.	所属	氏 名			第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5-8レース			総合 得点	順位
		スキッパー	クルー1	クルー2	着順	確順	得点	着順	確順	得点	着順	確順	得点	着順	確順	得点	着順	確順	得点		
2719	JTA	石川 光輝	泉 香月		1	1	1	1	1	1	2	1	1	5	5	5	ノ ー レ ー ス	9	<b>1</b>		
2765	JTA	田中 郁也	田中 紀子		6	6	6	2	2	2	3	3	3	3	3	3		14	<b>2</b>		
2862	JTA	佐藤 浩章	村岸 恭明		2	2	2	3	3	3	1	4	4	DNC	DNC	12		18	<b>3</b>		
2807	トヨタ自動車	山下 明德	谷 幸夫	中島 典芳	4	4	4	6	6	6	6	2	2	2	2	2		18	<b>4</b>		
2707	JTA	石塚 恒志	白岩 道孝		5	5	5	8	8	8	8	5	5	1	1	1		22	<b>5</b>		
2866	JTA	渡辺 克充	中野 佳代子	秋吉 寿美子	3	3	3	5	5	5	DNC	DNC	12	4	4	4		24	<b>6</b>		
2730	JTA	宇佐美 重則	小田倉 里美		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		28	<b>7</b>		
2712	JTA	下村 晃司	竹内 俊輔		8	8	8	4	4	4	5	5	5	DNC	DNC	12		29	<b>8</b>		
726	JTA	松本 浩司	武藤 拓万		10	10	10	10	10	10	4	4	4	6	6	6		30	<b>9</b>		
2222	JTA	平田 貴之	櫻井 智美		9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8		35	<b>10</b>		
2810	トヨタ自動車	阿部 龍介	渡辺 裕俊		11	11	11	11	11	11	10	10	10	RET	RET	12		44	<b>11</b>		
		風向			210°			210°			200°			210°							
		風速			6knot			6knot			6knot			10knot							
		スタート時刻			13:54:00			14:55:00			15:59:00			13:25:00							
		ラストFinish			14:37:55			15:38:30			16:44:03			14:04:50							

2015年9月20日

2015年 オータムレガッタ

浜名湖:三ヶ日青年の家

エントリーNo.	セールNo.	フリート	氏名		クラス	第1レース			第2レース			第3レース			総合 得点	順位
			スキッパー	クルー1		着順	確順	得点	着順	確順	得点	着順	確順	得点		
7	2862	江ノ島	佐藤 浩章	村岸 恭明	M	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	<b>1</b>
18	2880	稲毛	池田 陽平	須山 研吾	-	4	4	4	3	3	3	3	3	3	10	<b>2</b>
20	2712	稲毛	下村 晃司	竹内 俊輔	M	3	3	3	4	4	4	4	4	4	11	<b>3</b>
17	2572	稲毛	軽部 香	軽部 竜也	-	2	2	2	2	2	2	10	10	10	14	<b>4</b>
12	2745	江ノ島	関口 真秀	上松 慮生	-	6	6	6	5	5	5	6	6	6	17	<b>5</b>
3	2765	稲毛	田中 郁也	田中 紀子	GM	10	10	10	10	10	10	2	2	2	22	<b>6</b>
11	2821	江ノ島	戸室 宣房	堀ノ内 孝一郎	M	8	8	8	12	12	12	9	9	9	29	<b>7</b>
14	2707	浜名湖	石塚 恒志	白岩 道孝	SGM	5	5	5	8	8	8	18	18	18	31	<b>8</b>
19	2715	葉山	中村 賢一	高松 慎吾	-	14	14	14	6	6	6	11	11	11	31	<b>9</b>
2	2866	芦屋	渡辺 克充	中野 佳代子	M	7	7	7	11	11	11	15	15	15	33	<b>10</b>
6	2669	大阪北港	池田 俊則	秋吉 寿美子	GM	11	11	11	20	19	19	5	5	5	35	<b>11</b>
22	2809	浜名湖	蜂須賀 強	蜂須賀 通海	M	19	19	19	9	9	9	7	7	7	35	<b>12</b>
8	2705	芦屋	植田 泰平	植田 遼空	-	16	16	16	7	7	7	13	13	13	36	<b>13</b>
4	2749	稲毛	野口 優	杉田 智宏	M	18	18	18	13	13	13	8	8	8	39	<b>14</b>
16	2709	葉山	宮下 知之	宮下 颯	-	9	9	9	15	15	15	17	17	17	41	<b>15</b>
10	2653	大阪北港	多田 幸男	中山 弘幸	-	15	15	15	14	14	14	14	14	14	43	<b>16</b>
5	726	江ノ島	松本 浩司	武藤 拓万	M	12	12	12	21	20	20	12	12	12	44	<b>17</b>
9	2730	稲毛	宇佐美 重則	小田倉 里美	GM	13	13	13	16	16	16	19	19	19	48	<b>18</b>
21	2222	津	平田 貴之	櫻井 智美	GM	20	20	20	19	18	18	16	16	16	54	<b>19</b>
13	2657	浜名湖	長谷川 勝啓	長谷川 帆風	-	17	17	17	18	17	17	20	20	20	54	<b>20</b>
15	2457	浜名湖	工藤 陽	小野田 倍巳	GM	21	21	21	17	RET	22	21	21	21	64	<b>21</b>
レース委員長			天気	晴れ			晴れ			晴れ						
			風向	215°			195°			220°						
			風速	2.0m/s			3.0m/s			3.5m/s						
			コース	2			2			1						
			スタート時刻	11:00:00			12:27:00			13:45:00						
			トップFinish	11:47:00			13:15:03			14:27:05						
			ラストFinish	11:54:26			13:17:43			14:33:20						